



おおぞら

長井市立致芳小学校だより

令和2年4月15日

第1号

校是「和致芳」

正しく生活することは 自分や周りの人の命を守ること

学校をクラスター（集団発生場所）にしない。新型コロナウイルス感染症予防において、国でも県でも、学校・児童生徒・職員も一番大切にしていることです。三世帯同居も多い山形県、致芳地区も多くのご家庭がおじいちゃんやおばあちゃんと一緒に生活しています。行動範囲の広い若者たちが無症状でも感染を広げているという報道もあります。安全・安心が一番であり、その土台の上に楽しい学校活動や、学習が成り立つことを実感しています。

今大切にすべきことは、（世界中で取り組んでいることです。）

「家にじっとしていること」「手洗い・うがいをする事」「よく食べ、よく眠ること」

慶応大学のある学部長のあいさつは一言「Stay Home！（家にいろ！）」だったそうです。

表現は極端ですが、「何もしないで、家にいるだけで、あなたは世界を救うことができる！」と話した有名人もいました。もうしばらく我慢・がまん・ガマンです。

始業式（6日）、入学式（7日）を行いました。



新型コロナウイルス感染症予防のため、始業式でも校歌は歌わず、7日の入学式も来賓・在校生の参加をなくして、参加者や内容・規模を縮小しての開催となりました。今、守るべきは子どもとその家族の命です。

市内に感染者が出ていないことから、マスク着用・間隔をあけるなどの対策をとり、みなさんのご理解とご協力を得て行うことができました。感染者が出た他市町では、いまだ始業式も行うことがで

きない状態です。長井市内の学校は、始業式で担任の顔と名前がわかり、入学式も規模を縮小したとはいえ、準備してもらった真新しいランドセルを背負って笑顔で登校しました。一人一人呼名を受け、元気な声で返事をする事ができました。また、入学記念の写真も撮ることができました。当たり前前なのが、当たり前前にできたことが本当に有り難いことなのだということ、それが一番の幸せなのだと感じた一日でした。みんなが普通に登校し、普通通りに活動できる日をめざして、一人一人が安全な生活を送りましょう。職員も知恵を出し合い、努力を続けていきます。



6年生としての決意 (始業式代表あいさつ) 6年生 児童代表

(一部抜粋) ~今年はいよいよぼくたちが6年生です。これまでの6年生のようになるために3つのことに力を入れて頑張りたいと思います。1つ目はリーダーシップです。ぼくは少しひかえめなところがあり、自分から進んでおこなうということは苦手です。ですが、今までの6年生はぼく達について来いと、いつも堂々としていました。そんな今までの6年生のようになるために僕は積極的に手を挙げ、自分から進んで行動したいと思います。2つ目は、自信です。初めてすることに消極的になってしまうことがあります。初めてのことは少し怖かったり、大変だろうなと思ってしまったりするからです。今までの6年生を思い出すと、初めてのことにでも気合を入れておそれずに行動していました。気合を入れてどんどんチャレンジして、自信をつけていきたいです。3つ目は責任感です。ぼくは責任感とは委員会やクラブ活動、係活動などでは自分でやるべきことを考え、全力で最後まですることだと思っています。仕事の大小などに関わらず自分ができるところをしっかりと果したいです。ぼくは、普段大勢の人の前で話すことは苦手です。ですが、今日は勇気を出してチャレンジしてみました。この1年は自分が成長できるように自信と責任感をもって、何事にも全力で取り組んでいきます。



後若っ子笑顔写真館

入学式・始業式からのひとコマです

